

講義科目名称：発達障害各論

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位	卒業：選択 幼一免：選択
担当教員			
川原 ゆかり			

講義概要	<p>①障害児支援の動向について知識を得る 障害児支援の基礎知識を学ぶ 障害児支援としての福祉制度について知る</p> <p>②特別支援教育の背景について理解する 特別支援教育について学ぶ 特別支援教育の取り組みの実際を修得する</p> <p>③障害児のアセスメント法を体験する アセスメントの実際を学ぶ アセスメントの活かし方・グループ討議する</p> <p>④知的障害の理解を深める 広汎性発達障害の理解と支援方法について学ぶ 学習障害の理解と支援法を学ぶ</p> <p>⑤障害を持つ家族の心理について理解する 障害児と家族について見識を高める 障害児の親の会など社会活動に参加する</p>
授業計画	<p>1 障害児の現状と課題（障害児を取り巻く社会環境や福祉制度）</p> <p>2 障害児の基礎知識</p> <p>3 特別支援教育の背景</p> <p>4 特別支援対象児の障害の原因・病理</p> <p>5 特別支援児の理解</p> <p>6 障害児の理解と支援方法</p> <p>7 発達障害の早期発見と早期対応・早期療育の実際</p> <p>8 障害児のアセスメント Part I</p> <p>9 障害児のアセスメント Part II</p> <p>10 ADHDの理解と対応</p> <p>11 LDの理解と対応</p> <p>12 アスペルガー障害の理解と対応</p> <p>13 障害児の治療的アプローチ</p> <p>14 発達障害児とSST</p> <p>15 発達障害児と家族</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①障害児と取り巻く現状と課題について学び、保育者としての使命感や責任感を再認識する</p> <p>②特別支援教育の背景と動向について知り、保育者の役割について考察することにより、社会的な役割についての意識の向上を図ることができる</p> <p>③障害児の理解（アセスメント）法を学び、発達診断のスキルを身につけることができる</p> <p>④障害児の理解と支援法を修得するために、発達障害児について具体的に学び、見識を深めることができる</p> <p>⑤障害児と家族について具体的な事例を通して理解を深め、支援することができるようになる</p>
教科書・参考書	<p>テキスト：『障害児の理解と支援』 駿河台出版社</p> <p>参考書：インターネットや新聞報道などを活用し、適宜、タイムリーな最新の資料を活用</p>
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	研究室にいるときはいつでも対応しますので、気軽に訪ねてきてください
備考・メッセージ	